

小正月に行なわれる秋田・横手のかまくら祭。
雪でつくったかまくらには水神様を祀る。
子どもたちにとってのおもてなしの空間だ。

雪の恵み

雪やこんこん あられやこんこん。
シーズン最初の雪に喜び、
駆け回るのは子どもと犬だけでしょうか。
とうとう冬がやってきたか、と
半ば溜息をつきながらも、
大人だって、白く美しい雪には
心が躍ります。

雪はスキーなどのウィンタースポーツや
雪祭りといった観光資源にもなるし、
春に雪がゆっくり融けることは、
地下水涵養や稲作にも好都合。
雪国に大きな恵みをもたらします。

これほどたくさんの雪が降る地域に
これほどたくさんの方が住んでいるのは
日本だけだそうです。
日本人は雪のプラス面を活かし、
寄り添いながら暮らしてきたのです。

それでも雪に閉ざされた長い期間、
雪国の人たちは、
じつと我慢してきたに違いありません。
今の時代に合った新しい暮らしの知恵が
雪を有用な資源にできたら、
そんな我慢も少しは軽くなるのでは。
そこを出発点として
雪利用を見直してみました。

水の文化 45号 2013年10月

特集「雪の恵み」

新エネルギーとしての雪資源

克雪から利雪へ 媚山政良

4

あるがままの雪利用

雪室と雪だるま財団 伊藤親臣

8

最新の冷熱エネルギー活用

利雪の家 山田正人

12

日本の雪道とスタッドレスタイヤ 土橋健介

16

水神様を祀るかまくら 照井吉仁

18

札幌市と歩んだ〈さっぽろ雪まつり〉 齊藤洋平

24

快適な北方都市の創造

世界冬の都市市長会 今井啓二

28

雪都・上越高田の宝物

日本一の雁木通り 関由有子

32

文化をつくる雪の恵み

編集部

37

水の文化書誌

雪国の生活をたどる 古賀邦雄

38

シリーズ「わたしの里川」

里の水音 川それぞれ 鳥越皓之

40

Go!Go!109水系

山懐に抱かれた米代川 坂本貴啓

42

里川文化塾報告／予告

50

次号予告・編集後記

51